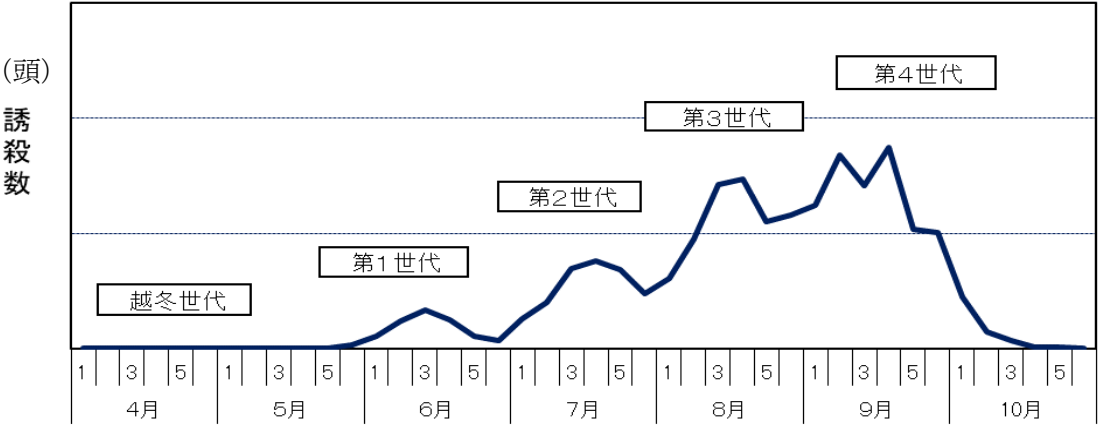


キンモンホソガのフェロモントラップ誘殺消長（令和7年（2025年）調査）

病虫害防除部

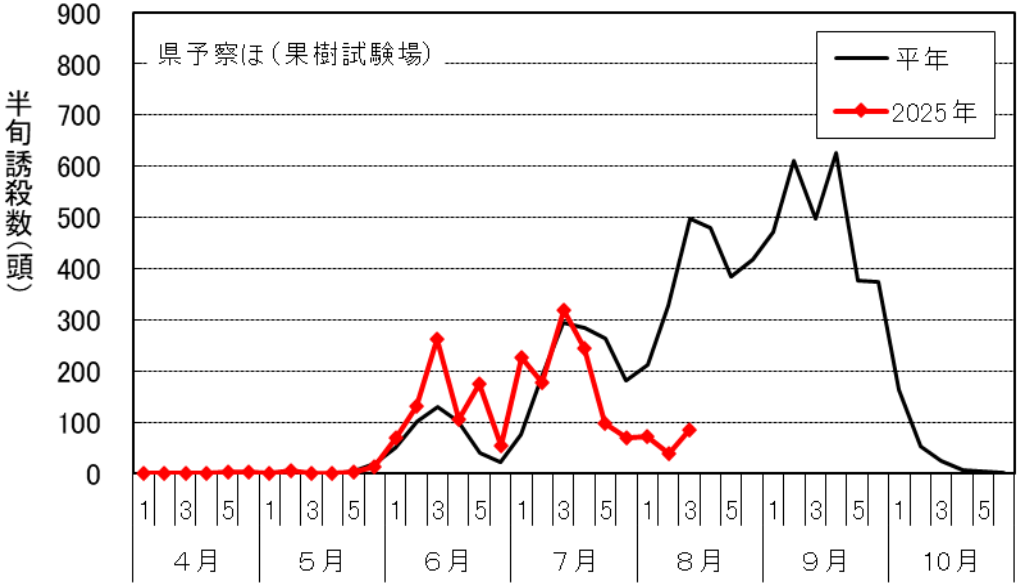
過去10年間の消長模式図（果樹試験場内 県予察ほ）



【発生生態と防除のポイント】

- ・年4～5回発生する。
- ・越冬世代成虫は4月中旬頃、第1世代成虫は5月下旬～6月中旬、第2世代成虫は7月上旬中、第3世代成虫は8月上旬～下旬、第4世代成虫は9月以降に発生する。
- ・第3世代成虫以降は発生が重なり合い、世代の区切りがはっきりしない。
- ・第2、3世代成虫の発生初期にあたる7月上旬、8月上旬が重要な防除時期である。

○県予察ほ（須坂市 果樹試験場）



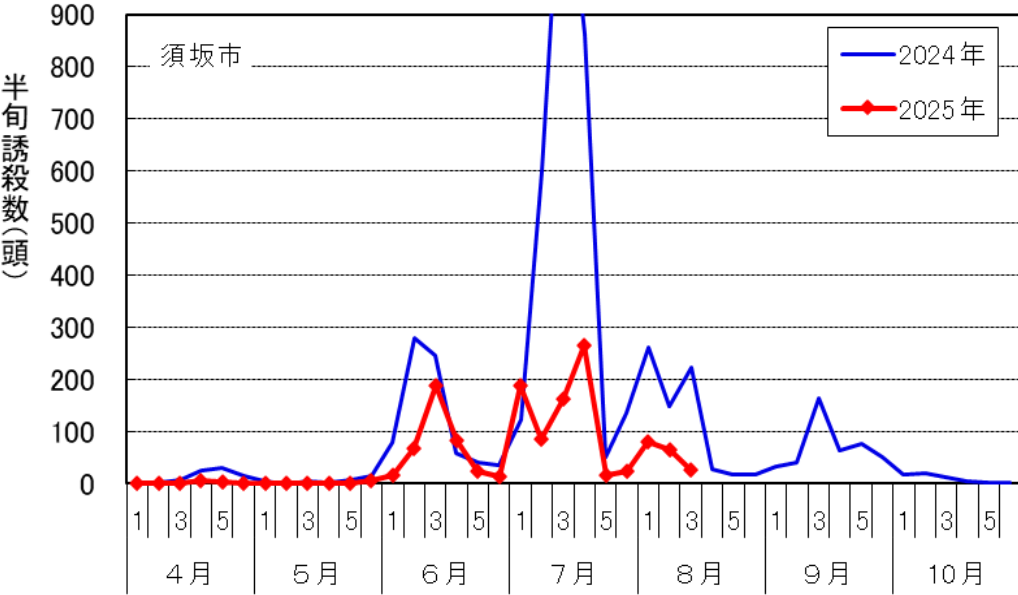
【調査地点】（標高約350m）

- ・須坂市（果樹試験場りんごほ場）
- ・平年は2015年～2024年の平均値

【コメント】

- ・平年であれば7月以降は漸増していく傾向があるが、本年は7月第3半旬にピークを記録した後は、誘殺数が減少した。
- ・8月第2半旬に下げ止まり、若干の増加に転じている。

○須坂市（病虫害防除部調査）



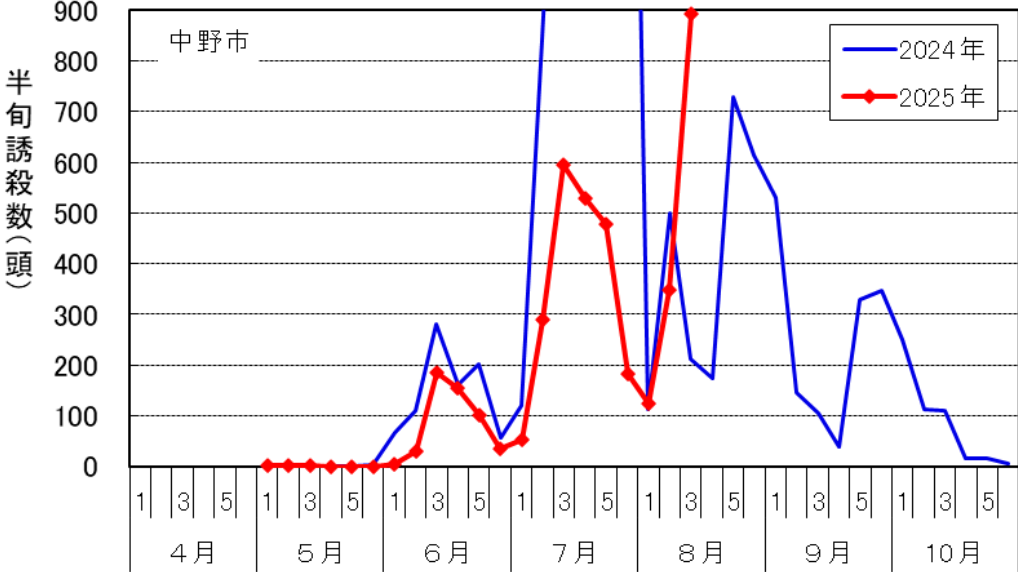
【調査地点】（標高約370m）

- ・須坂市（現地りんごほ場）
- ・2023年には場変更したため、平年値なし。

【コメント】

- ・発生消長は前年と同じような傾向を示している。
- ・7月前半の第2世代成虫の誘殺数は、昨年より少ない。
- ・昨年みられた8月上旬の小ピークが本年も見られたが、山は小さかった。

○中野市（病虫害発生予察ほ）



【調査地点】（標高約450m）

- ・中野市（りんごほ場）
- ・2023年には場変更したため、平年値なし。

【コメント】

- ・須坂市の調査ほ場と同様、発生消長は前年と同じような傾向を示し、7月前半の第2世代成虫の誘殺数は、昨年より少ない。
- ・ただし、須坂市のほ場と異なり、8月上旬のピークは前年より大きなものとなっている。